

身の回りの植物を活用できる未来へ

宮城県仙台第三高等学校 21班



●背景

- ・仙台三高周辺には学校林（自習の森）などがあり自然がとても豊か
- ・様々な植物が利用されずに枯れ、散っていてもったいない

→植物を有効に利用する方法はないかと考えた

●植物の活用法

①植物自体を食材にする

- ・そのまま使って料理にする

例)タンポポのおひたし、ヨモギの天ぷらなど

- ・お茶にする

例)ドクダミ、スギナなど

③燃やして暖を取る

最もよく燃える樹

→針葉樹(スギ、ヒノキ)

○細胞に多くに空気を含むため火がつきやすい

△燃焼時間が短い

広葉樹(カシ、ケヤキ)

の方が燃焼時間は長い◎

参考周辺のイチヨウの木は焚き火で活用できると考えられる。

●参考文献

- ・【自給自足決定版！】意外とおいしい！身近な「野草」を摘んで食べてみた YAMA HACK「ヤマハック」
- ・カンタン&美味しい！組合せ無限大の手作り野草茶でおうち時間を楽しもうトクバイニュース
- ・キレイな色に染まる草木染めの材料選
- ・保育園で楽しむ植物を使った色水遊びのアイデア。野菜や草花など使える植物の種類について

●目的

- ・植物の活用方法を探ること
- ・身の回りの自然環境に興味を持ってもらうこと

②植物の色素を利用する

- ・染め物の染料

例)桜の枝、ヨモギなど

- ・食べ物の着色料

- ・色水としての活用

→幼児でも安心して使うことができる

●可食インクとして植物の色素を

使うことができないか考えた

修学旅行で

ユニオンケミカル株式会社

(UNION CHEMICAL CO.,LTD.)を

訪問したが可食インクとしての利用はまだ難しいとわかった。

●まとめ

- ・植物によって様々な特性があり、色水を作れたり、燃やす材料になったり、食べられたりと植物の活用方法は考えた分だけ出てくる

・周りの植物に目を向け、日常の中に取り入れられないかぜひ考えてみてほしい。